

平成20年度 東総合支援学校 学校教育目標

「自ら可能性を最大限に伸ばし、生活を充実させ、社会参加する人間を育成する」

○目指す子ども像

- ・生き生きと活動する子ども
- ・健康でたくましい子ども
- ・みんなと共に暮らす子ども
- ・人を大切にする子ども
- ・意欲を持ってはたらく子ども

○学校重点目標

1. 一人一人の児童生徒のニーズに基づいた柔軟な教育課程の充実
～個別の包括支援プランに基づいた柔軟な取組と創造的なアプローチ～
2. 小・中・高等部の一貫した進路指導の充実
3. 生命を守り、育て、ともに心豊かに生きるための人権教育の充実
4. 地域での生活に根ざした交流及び共同学習の充実

○指導・経営方針 ～テーマ「安全と創造 そして信頼」～

1. 心のふれあい、人権尊重を学校経営の基盤とし、明るく、安全で、生き生きとした学校づくりを、学校運営協議会の機能を活用する中で学校長を中心として全教職員が一丸となっていく。
- ～子どもに愛情のある、子ども中心の教育～
2. 小・中・高等部12年間の発達・成長を連続してとらえ、それぞれのライフステージ及び高等部卒業後の生活に向けて「個別の包括支援プラン」を基にした一貫した教育活動を行う。
3. 学校経営システムの機能を活かし、校内支援体制の活性化を図り、児童生徒一人一人に焦点を当てた、きめ細かで柔軟な教育実践を推進する。
4. 保護者の「個別の包括支援プラン」への参画の充実を図り、目標の設定や支援の方法、学習内容の精選、ライフスタイルの構築など相互に理解・認識・信頼を深め、家庭と学校及び地域が持つ教育的機能の連携を図る。
5. 自己の課題を自ら乗り越え、今を、そして将来をより豊かに生きていくための小・中・高一貫した進路指導を、組織的に推進する。
6. 児童生徒の生命を守るための健康と安全の指導の充実を図り、日常的な危機管理・衛生管理を徹底する。
7. 児童生徒一人一人にとって「安全で、楽しく、意欲の高まる」美しい環境づくりを推進する。
8. ノーマライゼーション理念の具現化に向け、地域での生活づくりを目指した地域交流・居住地校交流を推進し、交流及び共同学習の充実を図る。
9. 地域コミュニティの一端として役割を担い、広報紙の発行など地域への情報発信や施設・設備の開放、地域行事への参加など、地域に開かれた総合支援学校づくりを推進する。
10. 地域に密着した総合支援学校のセンター機能の充実を図り、相談・支援、研修・研究、情報発信等について具体的・組織的な運用を推進すると共に、センター機能を発揮する人材の育成を積極的に推進する。

○学部の重点目標

小学部

「健康で安全な生活を送る中で、身近な社会への関心を高める」

重点項目

- ・健康で安全な生活を目指し、基本的な生活習慣を身につける
- ・身近な自然や社会に目を向け、ひと・もの・ことに積極的にはたらきかける
- ・自分でやりきろうとする力を身につける

中学部

「より豊かな社会生活をめざし、自ら意欲的に生きていく力を身につける」

重点項目

- ・健康的な生活習慣を身につける
- ・地域社会の中で活動する力を高める
- ・自ら役割を果たそうとする態度を身につける

高等部

「自らめざすライフスタイルの実現に向け、より自立的な社会参加の力を身につける」

重点項目

- ・自ら健康を維持し心理的な安定を図る
- ・地域の中で、社会資源を活用し、自ら生活する力を高める
- ・実社会ではたらくための知識、技能、態度を身につける